

憶えているかい

憶えているかい  
早春のフキノトウとりのこと  
春一番が吹き  
日ざしに温もりが戻ってきた日に  
風がまだ冷たい畦道を歩いたね  
小さなフキノトウを見つけた  
お前は  
「春はまだ赤ちゃんだ！」  
と表現したね



憶えているかい  
初夏の大万木登りの日のこと  
風が新緑に匂い  
木の間にさし込む日ざしは汗ばむほどで  
マツムシも鳴く沢道を昇ったね  
まだ十分に沢渡りができない  
お前を  
「ドッコイショ！」  
と渡してやったね

憶えているかい  
初秋の栗山の遊びのこと  
カレンジャーが九月にめぐれ  
心もち朝夕に涼しさを感じる頃  
栗山の伝いに涼しさを感ずる頃  
険しい山道を車で昇降するスリルが  
お前に入りで  
お前達イトコ同士は  
「キヤット、キヤット！」  
とにぎやかな声の合唱だったね

憶えているかい  
初冬のダイコンぬきのこと  
山の紅葉が最後の彩りを輝かせ  
風に落ち葉が舞い落ちる黒土の畑で  
背丈の半分もあるダイコンをぬき  
ぬけた満足感で得意気だったね  
兄弟で  
「ウントコショ！ドッコイショ！」  
と大きなかぶらの童話の真似をしたね